



みんなで繋ぎ、守る

下館祇園まつり



筑西市長
須藤 茂

下館祇園まつりとの出会い

市長…令和5年は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、市内では4大祭りをはじめさまざまなイベントが再開されました。昨年の下館祇園まつりは4年ぶりの本格開催となり、祭りを陰で支えるみなさんには、

多くの苦労があったかと思えます。本日は、これまでの活動とこれからの下館祇園まつりの在り方などを伺いたいと思います。はじめに、柴山さんは伊達組へ、大畑さんは筑西市しもだて子供みこし連合会（以下、子神輿連）へ加入したきっかけを教えてください。
柴山…私は、祖父が伊達組に加入して

あけましておめでとうございます。今月号では、新春特別企画として、昨年4年ぶりに下館祇園まつりの本格開催を実現させた、羽黒神社伊達組組長柴山和己さん、筑西市しもだて子供みこし連合会会長大畑芳道さんと須藤茂市長の対談を紹介します。

いたこともあり、小さいころから祭りに連れ出されてきました。そうするうちに祭りのかっこよさに魅了され、19歳の時に伊達組に加入し、今年で40年になります。

大畑…私が青年会議所に所属していた平成13年に「子ども神輿体験事業」が始まり、4年間取り組んだあと、子神輿連と青年会議所のパイプ役として子神輿連の役員を仰せつかりました。
市長…長年、下館祇園まつりに携わってこられました。特に印象に残っている、出来事などございますか。

柴山…手古舞、氏子町内の高張り提灯、平成神輿が一行で練り歩き、神様を神社に送り込む儀式「宮入道中」を令和元年から復活させたことですね。暗闇の中、提灯や神輿に明かりを灯し練り歩く姿は、荘厳な美しさがあります。みなさんからもたくさんのお好評をいただいています。





羽黒神社伊達組組長

しばやま かずみ
柴山 和己 氏

明治 28 年に結成され、約 170 人が所属する伊達組の組長に平成 22 年に就任。神輿渡御や運営などの下館祇園まつりの指揮を執る。



筑西市しもだて子供みこし連合会会長

おおはた よしみち
大畑 芳道 氏

子供みこしの取りまとめ役で、令和 5 年に会長に就任。最終日の宮入りまでの神輿渡御を調整するなど町内の連携を取る。

下館祇園まつりの継承 人材不足が課題に

市長…下館祇園まつりの盛り上がりという点で、昨年は 4 年ぶりの本格開催となり、例年に増して賑わいをみせて

大畑…私が子どものころは、現在より多くの町内が参加し、神輿も 40 基ほど出ていました。我先にと神輿の担ぎ場所を朝から取り合い、小さいころは、担ぎたくても担げなかったときのことを覚えています。
市長…宮入道中を見たときは、厳かな雰囲気は圧倒されました。私も神輿を何度か担がせてもらいましたが、最後は毎回精根尽き果てる程です。それでもまた来年も担ぎたいと思えるのが神輿の魅力ですね。

くれました。一方、歴史ある祭りを運営・継承していくうえで、担ぎ手や運営側の人材不足が課題と伺っています。この点について、どのようにお考えでしょうか。
柴山…他県の祭りにも私たちが参加することで、お返しにその祭り関係者が家族や知人を連れて下館祇園まつりに参加してくれています。また、私たちがみなさんの思い出に残るような祭りをすれば自然と人が集まり、そのなかでかつての私のように憧れを持つ子どもたちも出てくると考えています。
大畑…市内だけでなく近隣市町村の小学生の担ぎ手を募集していきます。この取組みで集めてた担ぎ手を、各町内で積極的に受け入れてもらえるよう、私たちが働きかけ、環境を整える

まちの活性化の柱であり 人々の心の拠り所に

必要があると考えています。神輿を担いだ経験がいい思い出となり、大人になっても祭りの季節には筑西市に帰ってきてくれると信じています。
市長…少子高齢化、地方の過疎化など人口減少が進む中、歴史ある下館祇園まつりを継承していくことの大変さや努力を大いに感じますね。
まちの活性化の柱であり人々の心の拠り所に

必要があると考えています。神輿を担いだ経験がいい思い出となり、大人になっても祭りの季節には筑西市に帰ってきてくれると信じています。
市長…少子高齢化、地方の過疎化など人口減少が進む中、歴史ある下館祇園まつりを継承していくことの大変さや努力を大いに感じますね。
大畑…伊達組と子神輿連が連携して祭りを盛り上げること、誰もが参加できる体制を作ること、そして開催されることで市民が一人丸となって盛り上がる祭りが求められていると思います。
市長…伝統ある下館祇園まつりの継承に対する意気込みが聞け、とても頼もしく思います。筑西市としても全力で協力させていただきますので、市の活性化や人々の心の拠り所として、引き続き活動していただければ幸いです。本日はありがとうございます。